

因島業界動向

2020年10月～12月

(令和2年10月～12月)

因島商工会議所

1. 【因島経済動向調査(DI方式)報告】

(調査の概要)

- 1. 調査方法 FAX送信によるアンケート調査(景気観測調査の回答使用)
- 2. 調査内容 ①景況のほか、生産額・売上額など6項目について、令和2年9月の状況と前年同月調査との比較
②同一項目における令和3年1月～3月の先行き見通し
- 3. 調査時期 12月中旬～下旬
- 4. 調査対象 54社(製造業：17社 非製造業：37社)
- 5. 回収状況 回答 37社(製造業：16社 非製造業：21社)
回答率 69.8%

DI：各調査項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準に、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわす回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※注 原材料・商品仕入価格：DI = (下降) - (上昇)

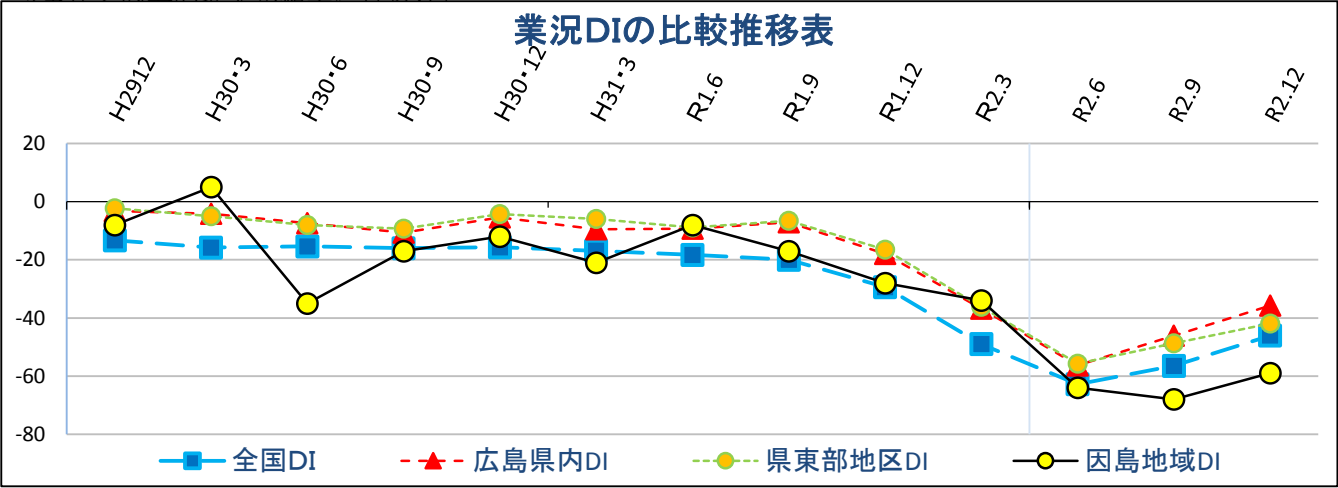
製品・商品在庫：DI = (不足) - (過剰)

～因島景況の総括 令和2年12月期～

全業種DI（良い－悪い）は、▲59（前回9月調査▲68、R1.12月調査▲28）で前回調査から比較すると9ポイントの上昇となった。

製造業では、船舶造修：▲75（前回9月調査▲60）と前回調査比で▲15ポイントの下落。その他機械金属：▲40（前回9月調査▲60）で、製造業DIは▲60（前回9月調査▲63、R1.12月調査▲13）と3ポイント上昇となった。造船関連業については低価格競争の激化により、新規受注の減少や他部門での収益化が難しくなっているが、機械・金属製品関連についてはコロナ禍の中でも業況が回復している（特に自動車部品等）為、2期連続の上昇となった。

非製造業では、建設業：▲40（前回9月調査▲50）、卸売業：▲67（前回9月調査▲67）、小売業：0（前回9月調査▲100）、運輸・サービス業：▲88（前回9月調査▲75）で、非製造業DIは▲59（前回9月調査▲71、R1.12月調査▲41）で前回調査より12ポイント上昇となった。新型コロナウイルス感染症による観光客の減少に歯止めがかからず、観光産業や飲食店等で相次いでマイナスとなったものの、尾道市の商品券事業により小売業や建設業など内需の増大が顕著に見られた。



【令和2年12月期 景況DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R1.12月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	3%	35%	62%	▲ 59.0
(前回)	0%	32%	68%	▲ 68.0
(前年同月)	0%	72%	28%	▲ 28.0
製造業(当月)	0%	40%	60%	▲ 60.0
(前回)	0%	38%	63%	▲ 63.0
(前年同月)	0%	87%	13%	▲ 13.0
非製造業(当月)	5%	32%	64%	▲ 59.0
(前回)	0%	29%	71%	▲ 71.0
(前年同月)	0%	59%	41%	▲ 41.0

【令和3年1月～3月の先行き見通し 因島景況】

全業種DI（良い－悪い）は▲59（前回9月調査▲46、R1.12月調査▲19）と前回調査から▲13ポイントの見通しとなった。

製造業では、船舶造修：▲50（前回9月調査▲60）と10ポイントの上昇、機械金属：▲20（前回9月調査20）で、製造業DIは▲46（前回9月調査▲44、R1.12月調査13）で、▲2ポイントの小幅な減少となった。船舶需要の低下による新造船受注減少や修理等の価格競争は依然収まらないと見越し、厳しい見方となっている。

非製造業では、建設業：▲80（前回9月調査▲75）、卸売業：▲83（前回9月調査▲50）、小売業：▲67（前回9月調査▲34）、運輸・サービス業：▲（前回9月調査▲37）で、非製造業DIは▲68（前回9月調査▲48、R1.12月調査▲23）となり、「Go Toキャンペーン」の一時停止や2回目の緊急事態宣言による客足の遠のきにより、大幅なマイナスの見通しである。

【令和3年1月～3月の先行き見通し 景況DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R1.12月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	3%	35%	62%	▲ 59.0
(前回)	11%	30%	57%	▲ 46.0
(前年同月)	3%	75%	22%	▲ 19.0
製造業(当月)	7%	40%	53%	▲ 46.0
(前回)	6%	44%	50%	▲ 44.0
(前年同月)	0%	87%	13%	▲ 13.0
非製造業(当月)	0%	32%	68%	▲ 68.0
(前回)	14%	19%	62%	▲ 48.0
(前年同月)	6%	65%	29%	▲ 23.0

～因島生産額・売上の総括 令和2年12月期～

全業種DI（良い－悪い）は▲59（前回9月調査▲57、R1.12月調査▲28）で▲2ポイントとなった。

製造業では船舶造修：▲75（前回9月調査▲40）、機械金属：▲20（前回9月調査▲80）で、製造業DIは▲54（前回9月調査▲63、R1.12月調査▲20）で9ポイント上昇となった。

非製造業では、建設業：▲40（前回9月調査0）、卸売業：▲83（前回9月調査▲50）、小売業：34（前回9月調査▲34）、運輸・サービス業：▲100（前回9月調査▲88）で、非製造業DIは▲64（前回9月調査▲53、R1.12月調査▲35）で、前回調査から▲11ポイントとなった。製造業では景況同様、機械・金属製品関連が復調の兆しを見せている。非製造業では、「GoToキャンペーン」での利用促進を行ったものの、感染拡大の懸念から観光産業の低迷が以前として続いている。

【令和2年12月期 売上DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R1.12月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	11%	19%	70%	▲ 59.0
(前回)	8%	30%	65%	▲ 57.0
(前年同月)	3%	66%	31%	▲ 28.0
製造業(当月)	13%	20%	67%	▲ 54.0
(前回)	0%	38%	63%	▲ 63.0
(前年同月)	0%	80%	20%	▲ 20.0
非製造業(当月)	9%	18%	73%	▲ 64.0
(前回)	14%	24%	67%	▲ 53.0
(前年同月)	6%	53%	41%	▲ 35.0

【令和3年 1月～3月の先行き見通し】

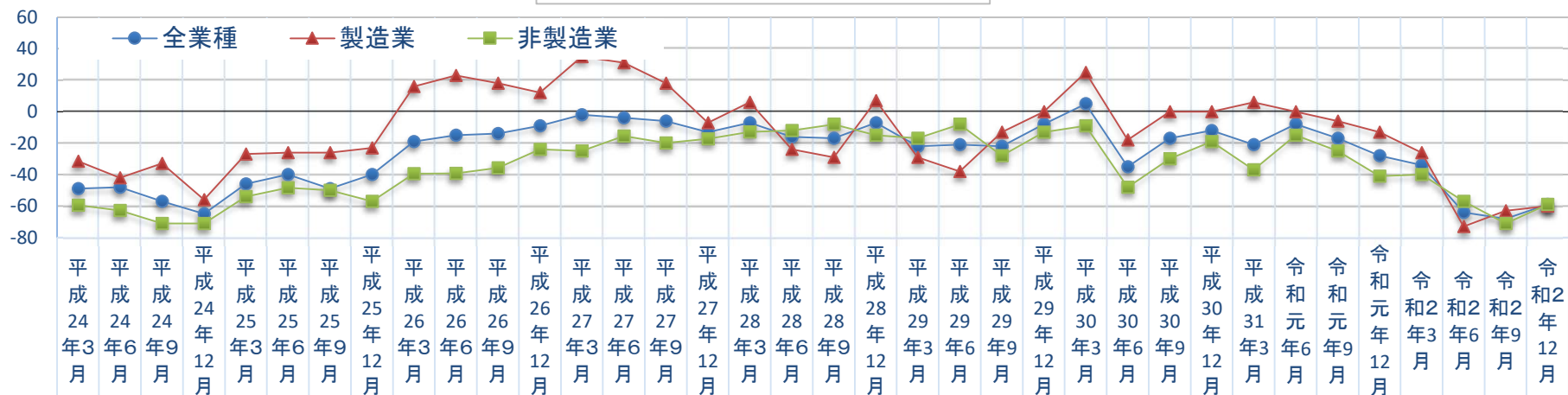
全業種DI（良い－悪い）は▲54（前回9月調査▲33、R1.12月調査▲32）で前回調査から見ると▲21ポイントとなった。

製造業では船舶造修：▲25（前回9月調査▲60）、機械金属：0（前回9月調査0）で製造業DIは▲34（前回9月調査▲43、R1.12月調査▲33）で前回調査より9ポイント上昇の見通しとなった。

非製造業では、建設業：▲80（前回9月調査▲75）、卸売業：▲83（前回9月調査▲33）、小売業：▲67（前回9月調査67）、運輸・サービス業：▲50（前回9月調査▲25）で非製造業DIは▲68（前回9月調査▲24、R1.12月調査▲29）と前回調査より▲44ポイントの見通しとなった。尾道の商品券事業の終了と緊急事態宣言の影響により、特に非製造業の翌期はさらにマイナスに転じる懸念もぬぐい切れない。

因島地域の景況感の推移

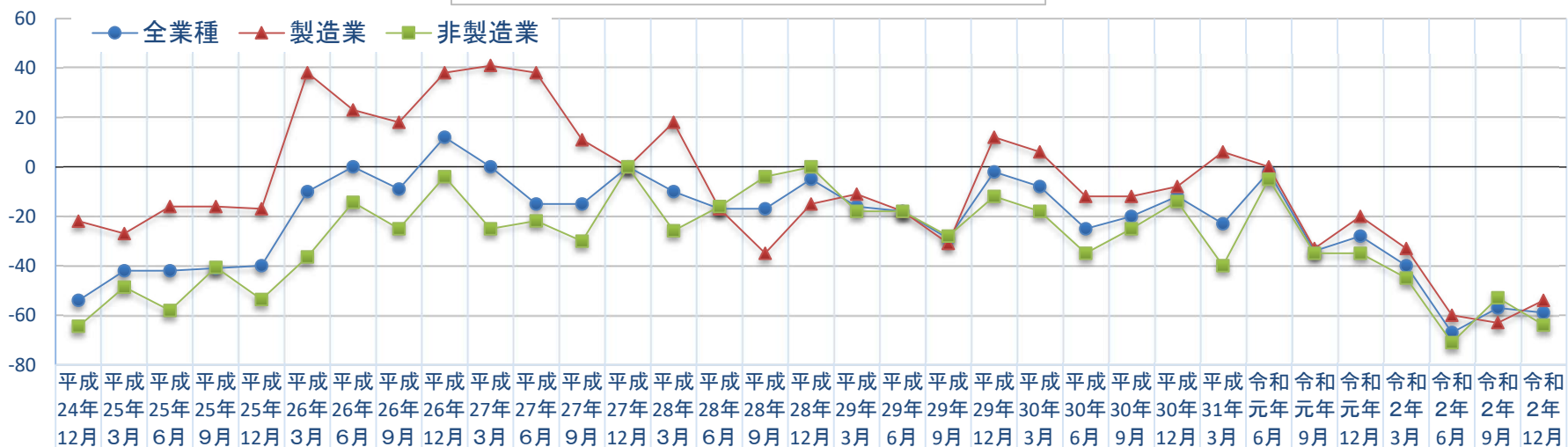
DI 値



因島地域の生産額・売上額の推移

3

DI 値



2.【在因島金融機関取扱い(残高)状況】

(単位:百万円、%)

項 目 年 月		残 高 合 計				
		預 金	前年同月比	貸出金	前年同月比	預貸率 前年同月差
R1 年 度 末		123,593	100.0%	48,807	102.1%	39.5% 0.8
R2 年 度	第 1 / 四期末	128,643	103.0%	51,746	111.6%	40.2% 0.0
	第 2 / 四期末	130,003	104.2%	50,340	107.3%	38.7% 1.1
	第 3 / 四期末					

地方銀行2行、信用組合1行、計3行の合計。

3.【企業倒産状況】(負債総額1,000万円以上)

(単位:件、百万円)

項 目 年 月		倒 産 件 数		負 債 総 額		備 考
		件 数	前 年 比 (%)	金 額	前 年 比 (%)	
R1 年 度		0	0.0	0	0.0	年度計
R2 年 度	第 1 / 四期末	0	0.0	0	0.0	期 計
	第 2 / 四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	第 3 / 四期末	0	0.0	0	0.0	〃

(株東京商工リサーチ広島支社調)

4.【月間有効求人数・月間求職者数・求人倍率】

(単位:人、倍)

項 目 年 月		有 効 求 人 数		有 効 求 職 者 数		有 効 求 人 倍 率		備 考
		人 数	前 年 比 (%)	人 数	前 年 比 (%)	倍 率	前 年	
R1 年 度 平 均		3,808	96.1%	1,900	98.5%	1.74	1.53	
R2 年 度	第 1 / 四期	2,932	74.3%	1,937	93.8%	1.51	-0.40	
	第 2 / 四期	2,791	73.8%	2,007	103.4%	1.39	-0.56	
	第 3 / 四期	1,897	49.5%	1,439	80.7%	1.32	-0.83	

注:新規学卒者を除き、パートを含む。月平均は四捨五入。(尾道公共職業安定所調)

5.【経営改善資金推薦状況】

(単位：件、万)

項 目 年 月		推 薦					決 定		
		件数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	運 転	設 備	件数	金 額 前年比 (%)
R1 年 度		38	127.6	37,830	145.8	31,538	6,292	36	3,630 139.7
R2 年 度	第 1 / 四期末	20	153.8	17,910	117.0	15,550	2,360	18	15,810 103.3
	第 2 / 四期末	27	337.5	24,920	370.8	22,410	2,510	25	22,920 341.1
	第 3 / 四期末	31	442.9	29,070	421.3	24,810	4,260	29	27,070 510.8

(因島商工会議所調)

6.【因島商工会議所会員数】

(単位：者、社)

区 分	9 月 3 0 日現在 会 員 数	新規会員数	脱退者数	1 2 月 3 1 日現在 会 員 数
法 人	501	4	4	501
個 人	465	5	3	467
合 計	966	9	7	968

7.【今期のアンケート調査結果】

◆今期のアンケート調査

回答件数 32件

新型コロナウイルスの影響が続く中、【正社員における2020年度（2020年4月～2021年3月）の賃上げ（定期昇給、ベースアップ、手当の新設・増額、一時金（賞与）の増額）の状況】について、「賃金は同水準を維持する」の回答が19社と大多数であったものの、「賃上げを実行した（予定を含む）」に合計7社の回答があり、前年同期実施時の3社を上回る結果となった。コロナ不況の中でも、人材確保や雇用維持の為に新たな売上の創出

